

児童発達支援 自己評価結果表

公表日：31年 3月 5日

事業所名：クレールハウス垂水教室

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている。	はい：9	整理整頓を心掛け、現状継続。	
	2 職員の適切な配置	適切な配置できている。	はい：9	引き続き定員に応じた職員配置を行う。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動時にはルールを説明し個別支援時には空間を仕切り視覚刺激の少ない環境で行っている。	はい：9	特性に応じて引き続き適切な環境で行っていく。	
	4 清潔で心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	玩具や触れる物には、消毒を行っている。	はい：9 *とても清潔で安心して預けることができています。	現状継続。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	都度ご家族様からの情報共有を行っているが、共有できていない事もある。		ミーティング時間を設け療育や業務について振り返り問題を共有し合い解決に向けての対策を立てる。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		必要に応じて今後検討。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	現在参加はできていない。		今後、積極的に参加していく。	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用開始または、個別支援計画更新時には面談を行い保護者や子供の希望を聞き取り踏まえた上で支援計画を作成している。	はい：9	現状継続。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントシートや基本情報の確認シートを活用し適切なアセスメントができるように取り組んでいる。	はい：8 わからない：1	現状継続。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標に対し具体的な支援内容を記載している。	はい：8 わからない：1	具体的な計画を立て保護者に説明し療育の活動に生かしていく。	
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	管理者の指導、計画を確認し適切な支援が実施できる。	はい：8 わからない：1	現状継続。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	個別療育については個別支援計画書に基づいて行っている。 集団療育やイベント全体は担当者間で相談し立案している。		現状継続。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は主に個別支援や休日は集団プログラムなどその日の様子や状態を見て行っている。		普段の過ごし方や長期休暇などについて相談や提案保護者との面談に取り組んでいきたい。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月案・活動予定表を作成し、現状や成長に応じて活動内容や季節に応じた活動を行っている。	はい：9 *様々な個別療育プログラムがありきたりに繋がるものが多くとてもありがたいです。	引き続き、子供たちの状況や成長に応じ対応また季節に応じた活動を実施していく。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者間で内容や役割の確認を行っている。		引き続き役割・確認を行って対応していく。	
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別支援ではその都度実施集団支援では活動後のミーティングで実施。		現状継続。	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録を記入しながら活動の振り返りと課題を確認している。		現状継続。	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的な計画の見直しを行っていく。		6ヶ月に1回、保護者の意向と子供の発達を踏まえ見直しを行いより適切な支援を行っていく。	
	関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	未実施		開催される時は今後可能な限り出席する。
		2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		必要あれば今後検討。
		3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		必要あれば今後検討。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要な場合、利用者からの希望に応じて対応。		積極的に対応したい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	未実施		専門性を高める為必要な研修には参加していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	未実施	どちらともいえない：2 わからない：7	地域の幼稚園や地域の行事に参加し交流を大切に今後取り組んでいきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	未実施		機会があれば情報提供をしていく。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	変更時など説明をしていく。 一日の支援内容など都度説明。	はい：9	支援の内容、利用者負担等を保護者の方と共通理解できるよう丁寧に説明していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画の見直しを行い、必要な児の目標を設定しなおし保護者に説明していく。	はい：9	引き続き、支援計画を保護者と確認しながら説明していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	未実施	はい：1 どちらともいえない：3 わからない：5	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時など出来事や課題支援内容などをお話するようにしている。	はい：9	全員の保護者と共通理解が得られるようにより丁寧な説明を行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡をとりあったり、送迎時にお話をするなど心掛けていますが十分にはできていない。	はい：6 どちらともいえない：1 わからない：2	保護者様からの悩みや相談があった際には職員全員で話し合い適切な助言を行い、保護者様の不安軽減に努めていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者支援も大きな目標の一つではあるが保護者同士の交流する取り組みを始めたところである。	はい：6 どちらともいえない：2 わからない：1	今後も保護者同士の交流が持てるよう企画していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応については、発生当日に保護者と面談をとり対応していく。	はい：7 *今までこういう事がないのでわからないにしています。 わからない：2	苦情対応マニュアルに従い迅速に対応する。主訴を明確にし、問題解決にあたる。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	現段階では十分に保護者と時間を確保できていないため要望があった際話し合う場を設けていく。	はい：8 どちらともいえない：1	今後話し合う場がもてるよう取り組んでいく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回予定表・行事の配布し活動内容を各ご家族様へ配信している。	はい：9 *日々の活動が発信されておりとてもたのしみ。 *毎日療育の様子を写真で送ってきてくれて安心だったのしみでもある。	現状継続。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時個人情報取り扱いの説明を行い、同意をもらっている。	はい：9	引き続き、個人情報の取り扱いについて厳重に取り扱っていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを見直し作成中。 避難場所については配布している。	はい：8 わからない：1	今後、保護者に配布するお便り等で緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルをお伝えしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年一回以上防災や地震の訓練を行い、職員は消火器の取り扱い訓練を行う予定。	はい：8 わからない：1	避難訓練実施後はその月のお便りに記載し、保護者の方に周知していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発普及するための研修を実施している。		会議を行ったり、職員間で情報を共有している。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をしない。		現状継続。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当なし		実施しない。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった際は職員同士で共有している。		子供達が安全に過ごしているかヒヤリハットを通して職員で情報を共有し、配慮すべきことを確認する。